

ばんげい 教育ほつとにゅーす かわら版

こ みち

# 教育の小径 No.5



今月の花／菜の花  
花ことば／活発、豊かさ、財産

今月の「今日は何の日」

- 3月 3日：ひな祭・耳の日
- 3月 5日：啓蟄
- 3月 7日：消防記念日
- 3月 8日：国際女性デー・ミツバチの日
- 3月14日：ホワイトデー
- 3月20日：春分の日
- 3月22日：放送記念日・国連水の日
- 3月23日：世界気象デー
- 3月25日：電気記念日
- 3月29日：マリモの日



北 俊夫先生  
国士館大学教授

## 「通知表」の役割と書き方

- 通知表は校長の責任で作成され、保護者や子どもに手渡される貴重な評価資料である。
- 通知表には、事実にもとづいて正確に記載することはもとより、子どもに自信をつけ、意欲とやる気を育てる「元氣の出る」記載内容にしたい。

規準にもとづいて判断されます。相対評価と違って、成績の根拠を明確にしておくことが求められます。これを結果説明と言います。そのためには、日頃からできる範囲で、子ども一人一人の学習状況を丹念に記録しておくといでしょう。

### 教師のひと言が安心感を与える

### 通知表の役割は何か

通知表（通信簿）は、学期末に学校（担任）から保護者・子どもに手渡される通信箋です。通知表に法的な根拠はありませんが、校長の責任で作成されるものです。内容は、一般に教科の成績、特別活動や総合的な学習の時間の様子、行動の記録、出欠の様子、担任からの所見などから構成されています。多くの場合、夏休みや冬休みなど長期休業日の前に出されます。学年末には、学年の修了証書としても活用されます。

通知表の内容に子どもたちは一喜一憂し、特別な文書として受けとめられています。わが国においては、伝統的



に大切に扱われてきました。それだけに、教師には特に配慮した記述や取り扱いが求められます。何よりも子どもたちが学校生活に自信をもち、さらに意欲を高めることができるよう、元氣の出る内容にしたいものです。

通知表は、単に成績の結果を伝えるだけではありません。子どものこれからのやる気を左右する重要な役割があります。このことをまず確認する必要があります。

### 日頃記録したデータをもとに

教科においては、観点別評価や評定を絶対評価で記録している学校が多く見られます。学級の中での相対的な位置を示す相対評価にもよさはありますが、絶対評価には一人一人の努力の成果が結果に表れやすいという利点があります。

そのために、保護者の中には通知表に記録された成績がどのように決められたのか。どうしてこの成績なのかに疑問を感じる人もいます。評価は、予め設定された指導目標や観点別の評価

所見欄の記述にはとくに配慮しましょう。これまでの学習などを通して進歩の状況を具体的に示すと、子どもはこれまでの学習に自信をもちます。同時に、さらに取り組んでほしい課題を明確にすることも大切です。

学習内容に対して不十分な定着だったとき、例えば「夏休みを利用して、〇〇について復習してください」と、保護者や子どもに注文することが多く見受けられます。保護者の立場からすると、「お願い」されるだけでなく、担任の先生はこのことに対してこれからどのように指導して下さるのかに強い関心をもつものです。

担任として、今後の指導の方針や具体的な手だてを示すと、保護者は安心感を抱き、担任に対して信頼度をさらに高めます。家庭でも、取り組ませようという姿勢になります。

通知表の記録や所見の内容は、担任が予想している以上に、敏感に受けとめられます。通知表を子どもを元気づける一つの手段として有効に活用したいものです。

道徳教育は「道徳の時間」を要(かね)に全教育活動を通じて推進されてきました。しかし、現在の子どもたちや成人の規範意識の希薄さや問題行動などを散見すると、その成果はまだまだ十分ではありません。道徳教育の一層の充実が課題になっています。

今回の学習指導要領には、全教科、総合的な学習の時間、外国語活動、特別活動に次のように示されました。「(前略)道徳教育の目標に基づき、道徳の時間などとの関連を考慮しながら、第3章の第2に示す内容について、〇〇〇の特質に応じて適切に指導すること(〇〇〇には教科等の名称が入ります)。」

道徳の内容は、「自分自身に関すること」「他の人とのかかわりに関すること」「自然や崇高なもののかかわりに関すること」「集団や社会のかかわりに関すること」の四つから構成されています。

これからの教科等の指導においては、これらの内容との関連に留意しながら授業展開することが求められます。

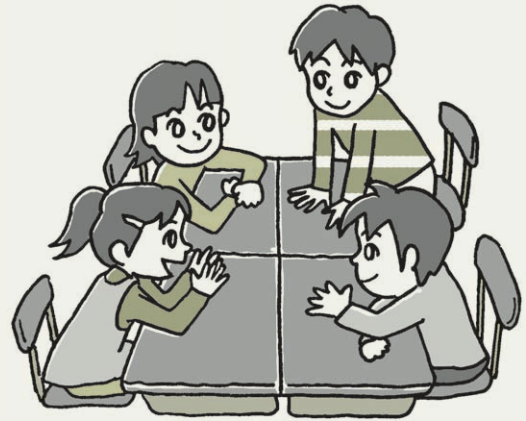


学級では、小集団のグループを編成した学習や活動がたびたび行われます。社会科での調べ学習をするときや、給食を食べるときなどに、グループを編成します。その際大切なことは、どのようにグループを編成するかです。

日常生活班を流用することもできますが、学習や活動の目的や内容に応じて、臨機応変にグループをつくることもできます。機械的ではなく、教師の意図を反映させた構成にします。例えば、同じ問題意識をもっている子どもたち、調べ方や理解度が同じ子どもたちで編成することが考えられます。

グループを構成する人数にも留意する必要があります。グループの人数が多すぎると、一人一人の

能力や意思が十分に発揮できません。低学年では2~4人、高学年では4~6人が効果をあげるようです。グループでの学習や活動には、グループの中でどの子どもも自分を発揮し、友だちと学び合う、協同的な人間関係能力を育てることにねらいがあります。



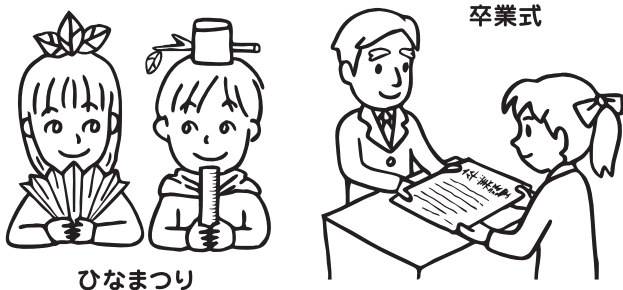
教育キーワード 指導要録の役割

指導要録は、学校教育法施行規則に規定された文書(公簿)です。二つの様式があり、一つは「学籍に関する記録」で、証明機能を備えています。いま一つは「指導に関する記録」で、指導機能をもったものです。指導要録は、過去の子どもの実情を把握し、継続的に指導するとの趣旨から作成されているものです。保存期間は、前者が20年、後者が5年です。

一般に「学籍に関する記録」は年度始めに、「指導に関する記録」は学年末に、それぞれ記録されます。いずれも年度始めに利用することが多いようです。過去の担任の記録が先入観を植えつけるとの理由で必ずしも有効に活用されていない実態も見られます。

進学先に指導要録の抄本を、転校先に写しを送付することになっているのも、継続的な指導を行うためです。

学級通信に使える今月のイラスト



ひなまつり

編集後記

小2の娘がもってきた通知表が、小1のときと形式が変わったことにびっくりしました。昨年は学期毎に1枚ずつ。今年は1枚で年間の変化がわかるもの。校長先生がかわると通知表の形式もかわるのだと実感させられました。(K記)

Information (PR)

H21 ぶんげいテスト新ラインナップ

基礎・基本のAテスト

学力定着のAプラステスト

習得&活用のN+テスト

株式会社文溪堂